

めぐみイエス・キリスト教会

2022年3月6日(日)第一主日礼拝
週報「通算第598号」



2022年標題聖句

第 I テモテへの手紙御6章17節～19節

《高慢にならず、頼りにならない富にではなく、むしろ、私たちにすべての物を豊かに与えて楽しませて下さる神に望みを置き、善を行ない、立派な行ないに富み、惜しみなく施し、喜んで分け与え、来たるべき世において立派な土台となるものを自分自身のために蓄え、まことのいのちを得るように命じなさい。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌266「罪、咎を赦され」 p. 418

【交読文】 No.17 詩篇第46篇 p. 892

【賛美Ⅱ】 新聖歌103「わがためイエス君」 p. 690

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル曲No.1「あなたと共にいつまでも」

【聖書朗読】 使徒の働き15章13節～21節(新約p. 265上段)

【礼拝説教】 《主の兄弟ヤコブの発言(教会会議そのⅢ)》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌165「栄光イエスにあれ」 p. 235

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

●ポイント1.「主イエスの兄弟と姉妹たち」とは？

※マタイの福音書き13章54節～56節「故郷ナザレにて」(新約p.28上段)

13:54 ご自分の郷里に行って、会堂で人々を教え始められた。すると、彼らは驚いて言った。「この人は、こんな知恵と奇跡を行う力をどこから得たのだろう。」

13:55 この人は大工の息子ではないか。母はマリアといい、弟たちはヤコブ、ヨセフ、シモン、ユダではないか。

13:56 妹たちもみな私たちと一緒にいるではないか。それなら、この人はこれらのものをみな、どこから得たのだろう。」

※第 I コリント15章4節～7節「使徒パウロの証しから」 (新約p.349下段)

15:4 また、葬られたこと、また、聖書に書いてあるとおりに、三日目によりみがえられたこと、

15:5 また、ケファに現れ、それから十二弟子に現われたことです。

15:6 その後、キリストは五百人以上の兄弟たちに同時に現れました。その中にはすでに眠った人も何人かいますが、大多数は今なお生き残っています。

15:7 その後、キリストはヤコブに現われ、それからすべての使徒たちに現われました。

●ポイント2. 主の兄弟ヤコブの引用した聖句とは？

※アモス書9章11節～12節「紀元前760年頃の預言者」(旧約p.1572下段)

9:11 その日、私は倒れているダビデの仮庵を起す。その破れを繕い、その廃墟を起し、昔の日のようにこれを建て直す。

9:12 これは、エドムの残りの者と私の名で呼ばれるすべての国々を、彼らが所有するためだ。これを行う【主】の言葉。

●ポイント3.「偶像に供えたもの、淫らな行い、絞め殺したもの、血」とは？

※第 I コリント5章1節「コリント教会における不品行」 (新約p.332上段)

5:1 現に聞くとところによれば、あなたがたの間には淫らな行いがあり、しかもそれは、異邦人の間にもないほどの淫らな行いで、父の妻を妻にしている者がいるとのこと。

※申命記12章23節～25節「主のイスラエルへの命令」 (旧約p.338下段)

12:23 ただ、血は決して食べてはならない。血はいのちだからである。いのちを肉と一緒に食べてはならない。

12:24 血を食べてはならない。それを地面に水のように注ぎ出さなければならぬ。

12:25 血を食べてはならない。あなたも、あなたの後の子孫も幸せになるためである。あなたは【主】の目にかなうことを行なわなければならない。

◎先週の礼拝メッセージの概要【シモン・ペテロの発言】

《第一回教会会議がエルサレムにおいて開かれました。この時、各地方に散らばって、教えていた使徒たち全員が戻って来ていました。

この当時、使徒たちはエルサレムの教会を起点として、ユダヤ地方の多くの教会を輪番で回っていました。となれば、彼らが留守の間には、教会を守り導く指導者が当然と必要となります。それゆえ使徒たちは、各々の教会に最も適任なる者を選び、按手して長老に任命したのです。

さて、「多くの論争があった後」とルカは書き記しています。詳細は分かりかねますが、おそらく以前はパリサイ人や律法学者であって、主の恵みによって救われた者たちが、自分たちの立場を弁明したと思われれます。

そこで会議を正常の方向に、また問題の解決に向けて、シモン・ペテロが発言したことが、今日の場面となります。

「兄弟たち。神は以前にあなたがた(ユダヤ人)の中から私をお選びになり、異邦人が私の口から福音の言葉を聞いて信じるようにされました。そして、人の心をご存じである神は、私たちに与えられたように、異邦人にも聖霊を与えて、彼らの為に証しをされました。私たちと彼らの間に何の差別もつけず、彼らの心を信仰によってきよめて下さったのです。」と。

これは、カイザリヤにおける「イタリア隊百人隊長コルネリウス」とその家族、知人全員の救いのことを証言しています。この奇跡を見たのは、ペテロだけではなく、ヨッパから同行した兄弟たち六人も目撃しています。

さて、シモン・ペテロは、発言を続けます。

「なぜ今あなたがたは、先祖たちも私たちも負いきれなかつたくびきを、あの弟子たちの首に掛けて神を試みるのですか。私たちは、主イエスの恵みによって救われると信じていますが、あの人たちも同じなのです。」

ペテロは、徹底的に砕かれていたからこそ、以前、パウロの叱責を受け入れたのです。それ故、聖霊に満たされ、力強い発言をしたのです。主イエスの御前にへりくだった者を、神様は用いて下さるのです。》

◎お知らせ

※次回礼拝は、3月13日(日)午後2時から教会にて行ないます。また3月20日(日)・4月3日(日)の礼拝も午後2時から行ないます。